

## 兵庫県住生活基本計画における成果指標（案）

## 1 頻発・激甚化する災害に備えた安全な住まい・住環境づくり

指標名	防災指針を定めている立地適正化計画の割合【新設】					
指標の算出方法	A/B ×100（累計） A：防災指針を定めている立地適正化計画を策定した市町数 B：立地適正化計画を策定した市町数					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	・頻発・激甚化する自然災害に対応するため、居住を誘導するエリアにおける防災対策・安全確保を図ることを目指し、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>100%</td> </tr> </table>	R2（現状）	R12（目標）	なし	100%	
R2（現状）	R12（目標）					
なし	100%					
目標値の考え方	・立地適正化計画を策定しているすべての市町において、防災指針を定める。					

指標名	安全基準を踏まえて見直しを行った特別指定区域の割合【新設】					
指標の算出方法	A/B ×100（累計） A：安全基準を踏まえて見直しを行った特別指定区域の数 B：特別指定区域数					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	・頻発・激甚化する自然災害に対応するため、特別指定区域内の安全性の確保を目指して、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>100%</td> </tr> </table>	R2（現状）	R12（目標）	なし	100%	
R2（現状）	R12（目標）					
なし	100%					
目標値の考え方	・指定している特別指定区域において、安全基準を踏まえた見直しを行う。					

指標名	<b>耐震性を有しない住宅ストックの比率【変更】</b> ※ 現計画では、住宅の耐震化率を指標としていたものを変更。								
指標の算出方法	$A/B \times 100$ (累計) A：地震危険住宅数（住宅・土地統計調査より推計） B：住宅総数（住宅・土地統計調査） ※ 人の居住する住宅に限る。								
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画								
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生命の安全確保のため、大規模地震での住宅の倒壊を防止することを目指して、本指標を設定。</li> <li>・ 全国計画でも成果指標として設定。</li> <li>・ 国指標と併せるために比率の表現方法を変更。</li> </ul>								
現状及び目標値	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H25（参考）</th> <th>H30（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.6%</td> <td>9.9%</td> <td>概ね解消</td> </tr> </tbody> </table> <p> <b>【現計画の目標値】</b> ・ 3% (R7)  <b>【全国計画の現状・目標値】</b> ・ 13% (H30) → 概ね解消 (R12)         </p>			H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）	14.6%	9.9%	概ね解消
H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）							
14.6%	9.9%	概ね解消							
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震性のない住宅（約 23 万戸）を早期に解消する。</li> </ul>								

## 2 誰もが安心して暮らせる住まい・住環境づくり

指標名	県営住宅団地に入居した若中年単身世帯数【新設】					
指標の算出方法	県営住宅にモデル入居した若中年単身世帯数（累計） （兵庫県住宅管理課調べ）					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	・非正規雇用等により生活が不安定な若中年単身世帯の居住安定確保を図ることを目指して、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>500 世帯</td> </tr> </tbody> </table>	R2（現状）	R12（目標）	なし	500 世帯	
R2（現状）	R12（目標）					
なし	500 世帯					
目標値の考え方	・非正規雇用者など若中年単身世帯を年間 50 世帯モデル入居させる。					

指標名	居住支援法人による要配慮者への住宅あっせん件数【新設】					
指標の算出方法	居住支援法人が住宅確保要配慮者に対して行った住宅のあっせん件数 （単年度）（兵庫県住宅政策課調べ）					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	・居住支援法人による住宅のあっせんを通じた、住宅確保要配慮者の居住の安定の確保を目指して、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>650 件</td> <td>2,000 件</td> </tr> </tbody> </table>	R2（現状）	R12（目標）	650 件	2,000 件	
R2（現状）	R12（目標）					
650 件	2,000 件					
目標値の考え方	・居住支援法人による住宅確保要配慮者への住宅あっせん件数を、現在の約 3 倍に増加させる。					

### 3 良質で環境にやさしい住まい・住環境づくり

指標名	<b>持ち家系新築住宅着工戸数に占める認定長期優良住宅の割合【変更】</b> ※ 現計画では、新築住宅における長期優良住宅の供給割合を指標としていたものを変更。								
指標の算出方法	$A/B \times 100$ (単年度) A：長期優良住宅の認定戸数（兵庫県住宅政策課調べ） B：持ち家系（持ち家＋分譲住宅）新築住宅着工戸数（新設住宅着工統計）								
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画								
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたり利活用できる良質な住宅を供給することにより、良質なストックの形成を目指して、本指標を設定。</li> <li>・新築住宅全体から、持ち家系住宅に絞った計算方法に変更。</li> </ul>								
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27（参考）</th> <th>R2（現状）※</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22.5%</td> <td>22.9%</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table>			H27（参考）	R2（現状）※	R12（目標）	22.5%	22.9%	30%
H27（参考）	R2（現状）※	R12（目標）							
22.5%	22.9%	30%							
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションも含めた持ち家系（持ち家、分譲住宅）新築住宅に占める認定長期優良住宅の割合を3割に増加させる。</li> </ul>								

#### 4 ライフステージ・ライフスタイルに合わせた住まい・住環境づくり

指標名	子育て世帯の住宅取得世帯に占める既存住宅購入世帯の割合【新設】 ※夫婦＋長子が18歳未満の世帯					
指標の算出方法	$A/B \times 100$ (単年) A：子育て世帯のうち、中古住宅を購入して持ち家に居住している世帯 (住宅・土地統計調査) B：子育て世帯のうち、新築・中古住宅を購入等して持ち家に居住している世帯 (住宅・土地統計調査)					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存住宅が購入しやすい環境づくりを通じた、子育て世帯が暮らしやすい住まいづくりを目指して、本指標を設定。</li> </ul>					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30 (現状)</th> <th>R12 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27.3%</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>		H30 (現状)	R12 (目標)	27.3%	50%
H30 (現状)	R12 (目標)					
27.3%	50%					
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の住宅取得世帯に占める既存住宅購入世帯の割合を、現在の概ね2倍に増加させる。</li> </ul>					

指標名	高齢者の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有するものの割合【新設】 ※ 現計画では、高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率を指標としていたものを変更。					
指標の算出方法	$A/B \times 100$ (累計) A：65歳以上の者が居住する住宅のうち一定のバリアフリー性能 <sup>※1</sup> 及び断熱性能 <sup>※2</sup> を有する住宅戸数 (住宅・土地統計調査) ※1 一定のバリアフリー化：2箇所以上の手すり設置又は屋内の段差解消がされていること。 ※2 一定の断熱化：二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓が、すべての窓又は一部の窓にあること。 B：65歳以上の者が居住する住宅の総戸数 (住宅・土地統計調査)					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化と断熱化の促進による、高齢者の安全・安心確保を目指して、本指標を設定。</li> <li>・全国計画でも成果指標として設定。</li> <li>・ヒートショック対策等を考慮した良好な温熱環境確保のため、バリアフリー化に加えて、断熱化の要件を追加。</li> </ul>					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30 (現状)</th> <th>R12 (目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.6%</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> 【全国計画の現状・目標値】・17% (H30) → 25% (R12)		H30 (現状)	R12 (目標)	13.6%	25%
H30 (現状)	R12 (目標)					
13.6%	25%					
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築住宅の性能向上に加え、リフォームによるバリアフリー化及び断熱化を推進し、全国と同じ25%まで増加させる。</li> </ul>					

## 5 空き家、既存住宅ストックを活用した住まい・住環境づくり

指標名	居住目的のない戸建空き家数【新設】								
指標の算出方法	戸建住宅の空き家のうち、「その他の住宅」の数（住宅・土地統計調査）								
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画								
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の適正管理・有効活用を通じた、居住目的のない空き家数増加の抑制を目指して、本指標を設定。</li> <li>・全国計画で設定されている成果指標（居住目的のない空き家数）を特に課題が顕著な戸建住宅に限定して設定。</li> </ul>								
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H25（参考）</th> <th>H30（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94,000 戸</td> <td>97,400 戸</td> <td>11 万戸程度に抑制</td> </tr> </tbody> </table>			H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）	94,000 戸	97,400 戸	11 万戸程度に抑制
H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）							
94,000 戸	97,400 戸	11 万戸程度に抑制							
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の住宅・土地統計調査からトレンド推計した居住目的のない戸建空き家数（13.6 万戸）の増加幅を 6 割抑制する。</li> </ul>								

指標名	マンション管理適正化推進計画を策定した市町に分譲マンション棟数カバー率【新設】					
指標の算出方法	$A/B \times 100$ （累計） A：マンション管理適正化推進計画を策定した市及び町（策定主体は兵庫県）に立地する分譲マンションの棟数（兵庫県住宅政策課調べ） B：兵庫県内に立地するマンション棟数（兵庫県住宅政策課調べ）					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの適正管理と良質なストックの形成を目指して、本指標を設定。</li> </ul>					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		R2（現状）	R12（目標）	なし	100%
R2（現状）	R12（目標）					
なし	100%					
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県及びマンションが立地するすべての市において、マンション管理適正化推進計画を策定する。</li> </ul>					

## 6 人と地域をつなぐ住まい・まちづくり

指標名	県営住宅の空き室、集会所等の地域開放件数【新設】					
指標の算出方法	県営住宅の空き室や集会所、駐車場、広場などを地域に開放した件数（累計）（兵庫県住宅管理課調べ）					
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画					
指標設定の考え方	・ 県営住宅の空き室や集会所などを活用した地域住民とのつながりづくりを目指して、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R1（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 件</td> <td>32 件</td> </tr> </tbody> </table>		R1（現状）	R12（目標）	15 件	32 件
R1（現状）	R12（目標）					
15 件	32 件					
目標値の考え方	・ 地域開放する物件を毎年概ね 2 件ずつ増加させる。					

## 兵庫県高齢者居住安定確保計画における成果指標（案）

### 1 高齢者に適した住宅ストックの形成

指標名	<p>高齢者の居住する住宅のうち、一定のバリアフリー性能及び断熱性能を有するものの割合【変更】</p> <p>※ 現計画では、高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率を指標としていたものを変更。</p>				
指標の算出方法	<p><math>A/B \times 100</math>（累計）</p> <p>A：65歳以上の者が居住する住宅のうち一定のバリアフリー性能<sup>※1</sup>及び断熱性能<sup>※2</sup>を有する住宅戸数（住宅・土地統計調査）</p> <p>※1 一定のバリアフリー化：2箇所以上の手すり設置又は屋内の段差解消がされていること。</p> <p>※2 一定の断熱化：二重以上のサッシ又は複層ガラスの窓が、すべての窓又は一部の窓にあること。</p> <p>B：65歳以上の者が居住する住宅の総戸数（住宅・土地統計調査）</p>				
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画				
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化と断熱化の促進による、高齢者の安全・安心確保を目指して、本指標を設定。</li> <li>・全国計画でも成果指標として設定。</li> <li>・ヒートショック対策等を考慮した良好な温熱環境確保のため、バリアフリー化に加えて、断熱化の要件を追加。</li> </ul>				
現状及び目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.6%</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【全国計画の現状・目標値】・17%（H30）→ 25%（R12）</p>	H30（現状）	R12（目標）	13.6%	25%
H30（現状）	R12（目標）				
13.6%	25%				
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築住宅の性能向上に加え、リフォームによるバリアフリー化及び断熱化を推進し、全国と同じ25%まで増加させる。</li> </ul>				

指標名	<p>リフォームを行ったプレシニア世帯のうち、バリアフリー改修・断熱改修を行った世帯の割合【新設】</p>
指標の算出方法	<p><math>A/B \times 100</math>（5年間）</p> <p>A：過去5年間にリフォームを行ったプレシニア世帯（世帯内最高齢者が50～64歳の世帯）のうち、高齢者等のための設備工事又は断熱工事<sup>※</sup>を行った世帯（住宅・土地統計調査）※ 窓・壁等の断熱・結露防止工事</p> <p>B：過去5年間にリフォームを行ったプレシニア世帯（住宅・土地統計調査）</p>
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期に備えた予防的対応を通じた、高齢者が暮らしやすい住まいづくりを目指して、本指標を設定。</li> </ul>



現状及び目標値	H30（現状）	R12（目標）
	30.3%	40%
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能等の低下に伴いバリアフリー化等の必要性を認識し始める65～74歳の世帯員を含む世帯の実施率と同程度まで増加させる。</li> </ul>	

指標名	高齢者人口に対する高齢者向け住宅（サ高住、有料老人ホーム等）の割合【継続】		
指標の算出方法	$A/B \times 100$ （累計） A：高齢者向け住宅*の戸数（兵庫県住宅政策課調べ） B：高齢者人口（兵庫県情報事務センター調べ） ※有料老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、シルバーハウジング、高齢者世帯向特定目的住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅		
指標の設定元	兵庫県高齢者居住安定確保計画		
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り等のサービスが必要となる高齢者世帯に対して十分な高齢者向け住宅が供給されることを目指して、本指標を設定。</li> <li>・全国計画でも成果指標として設定。</li> </ul>		
現状及び目標値	H27（参考）	R1（現状）	R12（目標）
	2.6%	3.1%	4.1%
【現計画の目標値】・3.6%（R7） 【全国計画の現状・目標値】・2.5%（H30）→ 4%（R12）			
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の居住の安定確保を図るため、見守り等のサービスが必要となる高齢者世帯に対して十分な高齢者向け住宅が供給されるよう、将来の見守りが必要な高齢者世帯数を勘案し設定。</li> </ul>		

## 2 高齢者のライフスタイルに合わせた住み替えへの支援

指標名	居住支援法人による要配慮者（高齢者）への住宅あっせん件数【新設】					
指標の算出方法	居住支援法人が住宅確保要配慮者（高齢者）に対して行った住宅のあっせん件数（単年度）（兵庫県住宅政策課調べ）					
指標の設定元	兵庫県高齢者居住安定確保計画					
指標設定の考え方	・居住支援法人による住宅のあっせんを通じた、住宅確保要配慮者（高齢者）の居住の安定の確保を目指して、本指標を設定。					
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> <tr> <td>198 件</td> <td>600 件</td> </tr> </table>	R2（現状）	R12（目標）	198 件	600 件	
R2（現状）	R12（目標）					
198 件	600 件					
目標値の考え方	・居住支援法人による住宅確保要配慮者（高齢者）への住宅あっせん件数を、現在の約3倍に増加させる。					

指標名	住宅取得世帯に占める既存住宅購入世帯の割合【変更】 ※ 現計画では、住宅流通量に占める既存住宅流通の割合を指標としていたものを変更。								
指標の算出方法	$A / B \times 100$ （単年） A：中古住宅を購入して持ち家に居住している世帯（住宅・土地統計調査） B：新築・中古住宅を購入等して持ち家に居住している世帯（住宅・土地統計調査）								
指標の設定元	兵庫県住生活基本計画								
指標設定の考え方	・既存住宅が購入しやすい環境づくりを通じた、多世代にわたる既存住宅ストックの有効活用を目指して、本指標を設定。 ・新築住宅全体を含めた住宅流通量から、住宅の新築・購入世帯を対象を絞った計算方法に変更。								
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>H25（参考）</th> <th>H30（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> <tr> <td>22.0%</td> <td>41.3%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）	22.0%	41.3%	60%		
H25（参考）	H30（現状）	R12（目標）							
22.0%	41.3%	60%							
目標値の考え方	・住宅取得世帯に占める既存住宅購入世帯の割合を、現在の概ね1.5倍に増加させる。								

### 3 高齢者の在宅生活を支える多様なサービスの充実

指標名	地域サポート施設の認定数【新設】					
指標の算出方法	地域サポート施設の認定施設数（累計）（兵庫県高齢政策課調べ）					
指標の設定元	兵庫県老人福祉計画					
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を地域で支える仕組みをつくるため、日常生活への継続した支援が必要な高齢者への見守りや配食サービス、移動支援等を実施する社会福祉法人による地域サポート施設の充実を目指し、本指標を設定。</li> </ul>					
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>R1（現状）</th> <th>R5（目標）</th> </tr> <tr> <td>71 施設</td> <td>100 施設</td> </tr> </table>	R1（現状）	R5（目標）	71 施設	100 施設	
R1（現状）	R5（目標）					
71 施設	100 施設					
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県老人福祉計画（第8期介護保険事業支援計画）の目標値を採用</li> <li>※ 兵庫県老人福祉計画で目標値に変更があった場合は本計画の目標値も変更。</li> </ul>					

指標名	<b>定期巡回・随時対応サービス事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所数【変更】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 現計画では、定期巡回・随時対応サービス事業所数、小規模多機能型居宅介護事業所数（看護小規模多機能型居宅介護を含む）としていたものを統合して設定。</li> </ul>					
指標の算出方法	A + B（累計） A：定期巡回・随時対応サービス事業所数（兵庫県高齢政策課調べ） B：看護小規模多機能型居宅介護事業所数（兵庫県高齢政策課調べ）					
指標の設定元	兵庫県老人福祉計画					
指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅の高齢者に対する適切なサービス提供の充実を目指して、本指標を設定。</li> <li>・兵庫県老人福祉計画の改定に併せて変更。</li> </ul>					
現状及び目標値	<table border="1"> <tr> <th>R2（現状）</th> <th>R12（目標）</th> </tr> <tr> <td>110ヶ所</td> <td>約300ヶ所</td> </tr> </table>	R2（現状）	R12（目標）	110ヶ所	約300ヶ所	
R2（現状）	R12（目標）					
110ヶ所	約300ヶ所					
目標値の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県老人福祉計画（第8期介護保険事業支援計画）の目標値を採用</li> <li>※ 兵庫県老人福祉計画で目標値に変更があった場合は本計画の目標値も変更。</li> </ul>					